

西多摩医師会が「タバコフリー西多摩」プロジェクト 煙から守る活動推進

たばこの煙から喫煙者自身や周りの人を守るための啓発活動や禁

リニツクの望月友美子
医師がモデルターを
務めた。

に喫煙をやめさせ、受
動喫煙の弊害を伝えて
いくことは全ての医者

指摘。同医療センター
総合内科の高野省吾医
師は「禁煙はできない

より禁煙に対する熱量が違うのが実情。多様なバックグラウンドを持った専門家が一緒に取り組むことで地域の禁煙に対する意識と活動の底上げを図りたい」と意欲を示した。

神應理事は「地域の公立病院を含め西多摩医師会としてたばこ対策の体制づくりを検討し始めて1年がたち、ようやく形になった。しつかりと活動を進め

たい」とした。

これらの意見を踏まえ初年度は、「世界禁煙デー」の5月31日から6月6日までの「禁煙週間」に全国的に実施される「イエローグリンキャンペーン」

DDTプロレス 青梅で開催



青梅市立
第二中学校
出身のプロ
レスラー
市長にコブラ
リストをかける
HARASHI
MA選手

HARASHIMA（ハラシマ）選手が青梅に凱旋する。住友金属鉱山アリーナ青梅（同市河辺町）で7月27日に開催されるDDTプロレスのリングに立つ。一般社団法人「青梅市スポーツ協会」との共催。

煙外来の拡充などに
取り組むプロジェクト
「タバコフリー西多
摩」が5月15日、西多
摩医師会（青梅市東青
梅）が主体となり発足
した。

進藤会長は「分煙があまり進んでいないなど西多摩地域の対策は遅れている。禁煙、受動喫煙防止を進めることで、地域の健康寿命の延伸に寄与できる」とした。

が診察室でできること。禁煙、受動喫煙防止を草の根運動で進めたい」と提案した。

市立青梅総合医療センター循環器内科部長の小野裕一医師は「喫煙は依存症。喫煙者の

ものと思われがちだが、今は薬も禁煙の方法も進歩し、効果的にやめられる」と同意した。

あきるの杜きずなク
リニツクの小高哲郎院長は「子どものためな

同日、新町クリニッ
ク（青梅市新町）で開
いた第1回会合には進
藤幸雄会長、神應知
理事（公衆衛生部部長）
のほか、循環器、呼吸

公立福生病院診療部
健診センター長で日本
禁煙学会禁煙専門医
の野村眞智子医師は
「日々の診療で、患者

煙は依存症。喫煙者の多くが『分かつてはいるがやめられない』状況。やめる手段があることを、しっかり伝えることが大切」と

長は「子どものためならやめられるという人も多い。『禁煙はできる』という運動を進めていきたい」とした。

望月医師は「地域に



オンラインを含め行った「タバコフリー西多摩」の第1回会合

まずは会員へのポスター配布を通じて住民や患者などにたばこの害や受動喫煙防止をアピールする。

間21万2000人で、高血圧や運動不足、高血糖などの要因をしいでワースト1位になっている（2019年）。

日本におけるたばこの「超過死亡数」は年

は、禁煙補助薬（バレ
ニクリンⅡチャンピツ

クスなど。現在は出荷停止中だが、2025年中には再出荷される予定)のほか、ニコチンパッチ(貼付剤)やニコチンガムといったニコチン製剤を使用で成功率が上がっている。

リング上で多様な個性がぶつかり合う戦いで人気を集める。

は「ミスターDDT」の異名を持ち、DDTプロレスを代表するオールラウンドプレーヤー。高木三四郎社長と

25 society&business Tokyo25 journal
journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

創業 200 年の田村酒造場、日本 酒文化の体験型施設来春開業へ



「嘉泉」で親しまれる創業 200 年を超えた田村酒造場（福生市福生）は、新たな日本酒文化を国内外へ発信する新ブランド「&KASEN（アンドカセン）」を始動した。併せてファンと一緒に未来の日本酒文化を創造する「&KASEN コミュニティ」を立ち上げた。また、取り組みの象徴となる日本酒文化を五感で楽しめる体験型施設を 2026 年春に開業する。

新ブランド「&KASEN」始動
田村酒造

酒造場の隣接地に着工した体験型施設は広さ約564平方メートル。多様な日本酒を味わえるレストランやバーのほか、日本酒文化を楽しむアイテムや商品を描えたショップを併設する。

施設は玉川上水と多摩川に挟まれた自然をを活かし、喧騒を忘れさせる美しい景観が施設内から楽しめる。

新ブランドは、日本

ファンと一緒に未来の日本酒文化を創造

酒や酒粕を
活用した飲
料・食品の
ほか、日本
酒をより深
く愉しむた
めの酒器や
関連アイテ
ムなどを展
開してい
く。

「&K A
SEN コミ
ュニティ」
はファンや
地域の人たちに参加し
てもらい、意見交換を
通じて生まれたアイデ
アを商品開発や情報発
信に積極的に活用して
いくもの。

同酒造場は長年地域
に根差し、伝統の製法
を大切に守りながら酒
造りに向き合ってきた。
だが、日本酒を取り
巻く環境が変化し、
課題となってきたの
が、伝統的な日本酒の
魅力が十分に伝わって

いないということ。この状況に、国内外で日本酒に関心を持つ人たちへ日本酒の魅力を発信する重要性を認識。伝統を継承しつつ、新たな日本酒の開発や、日本酒をより楽しめる場として、新施設の開業へ動き出した。

コミュニティへは20歳以上の日本酒好きな人なら無料で参加できる。

詳しくは公式サイト
<https://www.seishukasen.com/>

を標榜するDDTの基盤を築いてきた。

5月2日には開催報告のため青梅市役所に大勢待利明市長を表敬訪問。「青梅市でプロレスをやります」と告知。懇談の後、あいさつ代わりに市長にコブラツイストをかけ一本取った。

13時開場、14時試合開始。対戦カードは今後発表予定。一般チケットは3000円（当日3500円）。中学生以下無料。